

2019年（令和元年）8月19日

{{所属}}  
{{氏名}} {{敬称}}

## Information News 第79号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2019年8月5日～2019年8月16日の期間に発表された、食品に関連する話題を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

★★分析テクノサービスからのおすすめ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★  
このたび、弊社ホームページを全面リニューアルいたしました。

モバイル端末やスマートフォンにも対応したほか、ちょっとしたご相談やお問い合わせ、更には試験分析ご依頼がホームページから簡単に出来るようになりました。

新しくなった弊社ホームページ

<https://food-analab.jp/>

にアクセス頂けますと幸いです。今後ともよろしく願いいたします。

★★

<厚生労働省>

・生食発0805第2号「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000535408.pdf>

⇒農薬イソピラザム、農薬エトフェンプロックス、農薬フェンピロキシメート、飼料添加物ブチルヒドロキシアニソール、動物用医薬品フルメキン、農薬マンデストロビン及び動物用医薬品[モノ、ビス（塩化トリメチルアンモニウムメチレン）]ーアルキルトルエンについて、食品中の残留基準値が設定されました。

・薬生食輸発0808第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について（イタリア産ピスタチオナッツ加工品のアフラトキシン）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000536492.pdf>

・薬生食輸発0808第3号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について（タイ産生鮮マンゴの検査命令免除対象輸出者の登録解除）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000536680.pdf>

・薬生食輸発0809第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について（イタリア産ソフト及びセミハードタイプのナチュラルチーズのリステリア・モノサイトゲネス）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000537071.pdf>

・薬生食輸発0809第3号「平成31年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（中国産しそ、菜の花、ねぎ及びピーマン、米国産セロリ及びラズベリー並びにベトナム産ふくろたけ）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000537075.pdf>

⇒中国産ねぎのチアメトキサム、米国産セロリのビフェントリンに対する検査が強化されています。一方、中国産しそのアトラジン、中国産ピーマンのプロフェノホス、ベトナム産ふくろたけのクロルピリホス、米国産ラズベリーのメトキシフェノジド、米国産菜の花のハロキシホップに対する検査が緩和されています。

・薬生食輸発0809第4号「非加熱食肉製品に係る輸入時検査の強化について（一部改正）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000537179.pdf>

⇒イタリア産非加熱食肉製品より基準値を超えるリステリア・モノサイトゲネスが検出されています。

・薬生食輸発0809第5号「放射線照射に係る輸入時検査の強化について（一部改正）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000537064.pdf>

⇒中国産乾燥しょうがより、放射線照射が検知されています。

★★分析テクノサービスからのおすすめ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★  
海外では一般的に流通している放射線照射食品ですが、日本では輸入・販売が禁止されています。本検査は、香辛料などの食品を対象として、通知法（熱ルミネセンス（TL）法）に従い実施します。

お気軽にお問い合わせください。

★★

・生食発0813第2号「安全性未審査の組換えDNA技術応用食品の検査方法」の一部改正について  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000537333.pdf>  
⇒国内安全性未審査の遺伝子組換えコムギ（MON71300）と、遺伝子組換えバレイショ（Y9、X17系統）の検査方法が追加されています。

・薬生食輸発0813第1号「平成31年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（米国産小麦のMON71100/71300）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000537314.pdf>  
⇒上記検査方法の追加を受けて、米国産小麦のMON71100/71300に対するモニタリングが実施されます。

・「食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）の一部を改正する件（案）」（器具及び容器包装のポジティブリスト制度導入に伴う規格の設定）に係る御意見の募集について  
<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495190164&Mode=0>  
⇒塩素化ポリエチレン、ユリア樹脂、シリコーン樹脂など複数の樹脂原材料について、規格が設定される予定です。適用日：令和2年6月（予定）

<農林水産省>

・平成30年度食料自給率・食料自給力指標について  
<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/ampo/190806.html>  
⇒平成30年度は、米の消費が減少する中、主食用米の国内生産量が前年並みとなった一方、天候不順で小麦、大豆の国内生産量が大きく減少したこと等により、前年度から1ポイント減少し37%となりました。

・「2019年1-6月（上半期）の農林水産物・食品の輸出実績」について  
<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/kaigai/190809.html>  
⇒2019年1-6月（上半期）の農林水産物・食品の輸出額は、4,486億円、前年同期比2.9%の増加となりました。

<消費者庁>

・食品表示法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（案）に関する意見募集について  
<https://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=235080051&Mode=0>  
⇒食品の回収の届出の受理等に関する事務を都道府県知事（法第15条第5項に規定する保健所を設置する市又は特別区にあっては、市長又は区長。）が行うことになる予定です。

<消費者庁HP掲載の回収情報>

|              |     |
|--------------|-----|
| アレルギー表示関連    | 8件  |
| 微生物関連        | 7件  |
| 消費／賞味期限関連    | 3件  |
| 残留農薬／動物用医薬関連 | 2件  |
| 異物混入関連       | 2件  |
| 品質関連         | 2件  |
| 計            | 24件 |

⇒チョコレートから乳成分が検出されたことによる回収が発生しています。

★★分析テクノサービスからのおすすめ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★  
アレルギー物質は、食品回収の主要原因です。製造工程を共有している場合には、十分な製造工程の洗浄を行なっても、本来製品に使用していない特定原材料が

製品に混入することもあります。製品に表示されていない特定原材料が検出されると、製品の回収につながる可能性もありますので、一度検査をお勧め致します。

詳しくは、お気軽にお問い合わせください。

★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に送信させていただいております。本メールがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止させていただきます。

※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

---

株式会社ハウス食品分析テクノサービス  
インフォメーションニュース係  
Mail: [info2@food-analab.co.jp](mailto:info2@food-analab.co.jp)

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台 1 丁目 4 番  
TEL: [043-237-5676](tel:043-237-5676) FAX: 043-237-2912  
URL: <https://food-analab.jp/>

---